

令和6年

療育相談員だより

9月



〒863-0043

天草市亀場町亀川1886番地2

天草圏域児童発達支援センター

電話：23-7049 FAX：22-4985

メール：hondo@amasha.jp

暦の上では秋となりましたが、まだまだ厳しい暑さが続いています。夏の疲れも出やすい時期です。体調面にも気を付けてお過ごしください。

今月は、『道具（支援ツール）の紹介』『日常生活での言葉かけ』について情報提供します。

○親の集い

子育ての悩み、試してみて良かったことやお子さんの近況など情報交換の場です。相談には、ペアレント・メンターさんや療育相談員が個別の対応も行っています。

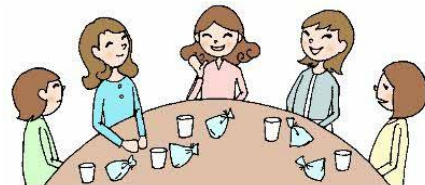
***毎月第3木曜日開催（奇数月10:00~11:30・偶数月13:00~14:30）**

今月の『親の集い』は・・・

○日 時：**令和6年9月19日（木）10:00~11:30**

○場 所：天草圏域児童発達支援センター 会議室

（天草市社会福祉協議会本渡支所内）



☆8月の親の集いには、保護者様1名、ペアレント・メンターさん1名が参加くださいました。それぞれのお子さんの近況を話して頂く中で、兄弟児さんの成長の様子も伺うことができました。就労を考える時期になったお子さんについては、「得意なパソコンを下級生に教える経験を通し、“人に教える楽しさ”や“感謝してもらえる喜び”を知ったことから、パソコン教室への就職を希望しているとのお話しをしてくださいました。

ペアレント・メンターさんからは、「子育てで悩んでいる保護者と出会う度に、自分の子育てで真っ最中の頃を思い出す。あの頃は、先が見えないことが辛かった。きっと悩んでいる保護者は、先輩ママたちから“〇〇したら良いよ!”とか“〇〇だから大丈夫!”という言葉かけを待っていると思う。自分もそうだったから。そんなやり取りをして安心させてあげたい」とお話ししてくださいました。とても心強いお言葉でした。!(^^)!

道具（支援ツール）の紹介～お箸サポート～

お箸を使い始める頃は周囲の影響によるところも多いですが、4歳半～6歳頃になるとスプーンや鉛筆を三指握りで持てるようになります。適切な時期から通常のお箸を使って、正しい持ち方を教えていけると良いと言われています。しかし指先の感覚が未発達でうまく持てないお子さんもいらっしゃいますので、必要な場合は便利なツールを使いながら、楽しく食事をする環境を作るのも一つの方法です。



『お箸サポート』

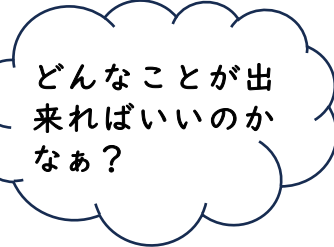
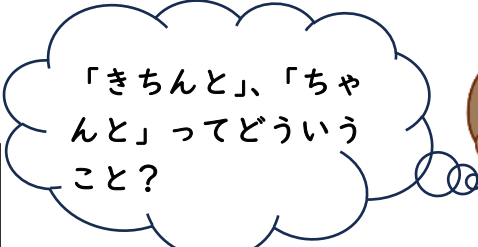
100円ショップにあります。店舗によっては置いてない場合もあります。

日常生活での言葉かけ ～曖昧な言葉～

曖昧で抽象的な言葉は、発信する側と受け取る側で思っているイメージの違いがでてきます。こう伝えつつもりだったのにできていない、指示が伝わっていないという時は、少しだけ伝え方を工夫してみると良いですね。

● 次の言葉を言い換えてみましょう

● きちんと掃除をして	➡ (指さして) ここからここまでのごみをなくそうね
● ちゃんと並んで	➡ この線の内側に立ちましょう
● ちゃんと片付けて	➡ 「積み木、箱に入れようね」終わったら次は「車をこの箱に入れてね」
● しっかりやって	➡ 今やることをもう一度確認してみよう

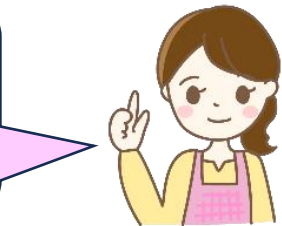


このような言い方では、お子さんは何をどうしたらいいか解らず混乱してします。

具体的な言葉で伝えると、解りやすく伝わります！

1つずつ順番に伝えると、更に解りやすいですね

「きちんとして」「ちゃんとやって」と伝えても、それがどんなことをしなければならぬのかお子さんには解りづらいかもかもしれません。出来るだけ具体的に中身をイメージしやすいように伝えていくことが重要です。



*他にも曖昧な言葉があります
(自分と相手の基準が違う)

- *優しく
- *丁寧に
- *上手に
- *たくさん
- *明るく
- *しっかり
- *なるべく
- *等々

さらに 実物・実例を見せる工夫も！
○宿題のプリントに線を引く。公園の遊具に並ぶ場合、地面に線や輪を描く。「ここからここまで」と線を引いて範囲を示す。

○動き方の実例や、写真やイラスト、動画を使ってお手本にする。
「ちゃんと」が、どのようなことかイメージ出来るようにする。

